

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年												平成30年															
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~1日	4月 ~8日	4月 ~15日	4月 ~22日	4月 ~29日	5月 ~6日	5月 ~13日	5月 ~20日	5月 ~27日	6月 ~3日	6月 ~10日	6月 ~17日	6月 ~24日
カンピロバクター	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	109	84	37	39	48	19	18	20	29	19	12	31	19	13	24	13	17	17
病原性大腸菌	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	73	110	66	51	44	21	21	19	15	22	7	30	21	20	20	17	26	17
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
サルモネラ	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	16	3	3	1	1	0	0	2	1	2	0	2	1	0	3	6	2	9
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	9	12	14	11	7	6	6	2	7	3	4	2	0	4	2	4	1	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	15	16	12	11	13	2	3	1	4	2	1	5	3	3	4	3	6	4
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	3	1	0	7	5	0	2	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0
ロタウイルス	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	2	11	18	6	12	16	9	7	4	3	2	1	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	7	21	13	13	17	1	2	1	0	0	0	3	0	1	0	1	0	1

広島県感染症発生動向週報

平成30年第25週(6月18日~6月24日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	3	結核	3		2			1			
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1	
四類	4	レジオネラ症	4	1		1	1	1			
五類全数	20	ウイルス性肝炎(E型, A型を除く)	1			1					
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1						1		
		後天性免疫不全症候群	1						1		
		水痘(入院例)	1						1		
		梅毒	6			1		3	2		
		百日咳	10		6			1		3	

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市 西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町 北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第25週 6/18~6/24)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり3.46人と、前週と比べてやや増加しました。

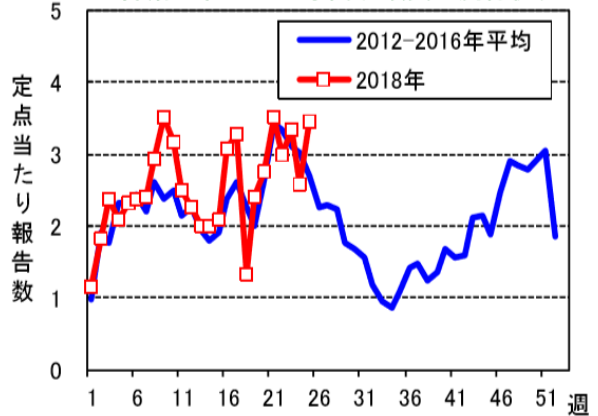
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌による感染症で、2~5日の潜伏期間の後、突然の発熱、のどの痛み、全身倦怠感、苺舌(イチゴのような赤いつぶつぶができる)などの症状が出現し、嘔吐を伴うこともあります。

例年、幼児や学童を中心に、春から初夏、冬季に報告数が多くなります。手洗いやうがいの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

2. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は4件となりました。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
インフル	インフルエンザ	-	-	0.02		小児科	流行性耳下腺炎	5	0.21	0.86	
小児科	咽頭結膜熱	12	0.50	0.98	急増減	眼科	RSウイルス感染症	10	0.42	0.12	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	83	3.46	2.69	増減		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	115	4.79	6.46	微増減	基幹	流行性角結膜炎	9	1.13	1.18	
	水痘	9	0.38	0.62	横ばい		細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	48	2.00	2.32			無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	-	-	0.35			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.12	
	突発性発しん	9	0.38	0.55			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	30	1.25	1.21			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	70	女性(80歳代)
4	レジオネラ症	1	14	男性(50歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	4	男性(30歳代)・感染者
5	水痘(入院例)	1	1	男性(80歳代)
5	梅毒	3	53	女性(20歳代)・1人、男性(30歳代)・1人、女性(40歳代)・1人
5	百日咳	1	19	女性(10歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱(40.0) 咽頭炎 下痢 腹痛 鼻炎	5	男	2018/05/12	糞便	アストロウイルス
手足口病	口内炎 発疹	2	女	2018/05/19	咽頭拭い液	エンテロウイルス71型
ヘルパンギーナ	発熱(38.5)	3	男	2018/05/17	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA2型
流行性角結膜炎	瞼結膜の発赤 結膜充血 流涙	42	男	2018/05/19	結膜擦過物	アデノウイルス53型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 肺炎 細気管支炎	1	女	2018/05/10	鼻汁	コクサッキーウイルスA2型
その他の消化器疾患	腹痛	3	男	2018/05/02	糞便	アデノウイルス3型
その他の消化器疾患	嘔吐 腹痛	0	女	2018/05/04	糞便	アデノウイルス5型
その他の神経系疾患	発熱(38.5) 起立・歩行できない	1	男	2018/04/23	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス